

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

### 【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

北陸で住まう素適な家

グループの名称

北陸の素適な家協議会

直近採択グループ番号

06-0400-0334

(グループ代表者)

代表者名

稲谷 嘉則

代表者印

代表者所属先

吉久建材株式会社

代表者所在地

富山県高岡市能町750

代表者電話番号

0766-22-7211

(グループ事務局)

事務局事業者名

ホクリク住材株式会社

事務局担当者名

山崎 浩範

印

事務局郵便番号

939-0101

事務局所在地

富山県高岡市福岡町赤丸628-1

事務局電話番号

0766-31-5050

事務局FAX

0766-31-5055

事務局担当者E-mail

info@hokuriku-j.com



B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		17	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	17	戸			
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		5	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸			
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		11	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	11	戸			
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		3	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸			
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		3	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸			
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸			
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		4	戸		
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸		
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸		
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		6	戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	6	戸				
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸				
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		3	戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸				
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸				
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸				
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸				
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		5	戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸				
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		2	戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸				
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		7	戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	7	戸				
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		2	戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸				
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟				
				0	m <sup>2</sup>					
				0	棟					
				その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	m <sup>2</sup>			
補助金対象実績の無い事業者を優先し、年間棟数の配分に考慮しつつ受付順とする										
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)										
E. 平成29年度の執行状況(必須)										
長寿命型(長期優良住宅)										
		採択戸数	4	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(認定低炭素住宅)										
		採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)										
		採択戸数	1	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)										
		採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
優良建築物型										
		採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸
		採択床面積	0	m <sup>2</sup>	交付申請床面積	0	m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m <sup>2</sup>





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 北陸で住まう素適な家	(地域型住宅供給対象地域) 富山県・石川県・福井県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 北陸の素適な家協議会	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0400-0334	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	北陸地方は寒暖の差が激しい気候なので、断熱性能とCO2排出削減を重視し、外皮性能を平成28年基準以上とする(非住宅は除く)	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	積雪対策として屋根垂木サイズ60×45以上、柱(主要構造材)サイズ120×120以上とする(非住宅は除く) 家族が協力して生活する風土があるため、2～3世代に亘って住める家づくりを提案する	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	古くからの地場産業と連携して、表札は地場産業製品(高岡銅器、ガラス、九谷焼)を提案する(非住宅は除く)	◎
④①～③の背景	・年間を通じて降雨日数が多く、湿度が高い。夏場はフェーン現象により40℃近くまで気温が上昇する半面、冬場は氷点下の日が続く降雪量も全国上位である。雪質は湿気が多く重い。 ・富山市は環境モデル都市の選定を受けており、CO2排出削減に取り組んでいる。 ・数世代が同居する大型住宅に住み、家族が協力して生活する風土がある。そのため床面積が大きく世帯収入が高い。 ・富山市では近年、全国で唯一の公立のガラス作家養成専門機関を開設するなどガラス芸術の振興に力を入れている。高岡銅器は日本の銅器生産額の訳95%を占める古くからの地場産業である。九谷焼は石川のみならず日本を代表する伝統工芸品として有名である。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	◆認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロエネルギー住宅は初めての事業者が多いのでの本事業を有効活用しつつ、グループ内で協力し合い実績につなげる ◆当地域は多雪地域のため、荷重対策の更なる検討や地域に合った住宅の性能向上を検討し住宅生産体制の整備と品質維持の向上を目指す。	◎
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 柱サイズ120×120以上、垂木サイズ60×45以上とする	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 主要構造材は 杉、桧、オウシュウアカマツ、米松(合法木材)を推奨する	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 用材の選定基準として「安定供給可能 ・コスト抑制 ・強度や耐久性に信頼がある」を掲げ、寸法規格化や統一した標準仕様化を図る	○
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・省エネ関連部材はグループでの共同購買を行い、在庫による安定供給とコスト削減に努める。 ・地場産業品の共同購買を推進する	○
②-2 調達事務の合理化	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 省エネ推進委員会を設置する(委員長:流通構成員より選出、委員:施工、設計の構成員にて構成)	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ新商品やシステム、地域の施策、補助金制度の情報を収集し周知案内する各種申請や計算などを円滑に行えるようにサポート体制を整える	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: フラット35の設計施工基準を準用したグループの施工基準を備える。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 契約不整合を防止するため、引渡前に施工主立会による完了確認を行う。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: お施主様に提出する見積書は一式表示にて提示せず、詳細見積書などを作成し提示する	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域型住宅の統一パンフレットを作成し周知に努める 施工主や構成員の問い合わせに対応する相談窓口やホームページを作成し地域型住宅や構成員の情報を発信する	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 職種毎に必要な日数を設定し、週休2日対応の年間休日カレンダーを作成する。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 今後公表される建設キャリアアップシステムを研究し対応する。	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工構成員の社会保険加入状況を把握する。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年に一度の割合で安全大会を開催し、不安全行動を誘発せぬよう確認すると共に、定期健康診断を呼びかける。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	過払い防止のために、上棟時までに施工主が支払う金額は請負金額の半分以下とする	◎

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 北陸で住まう素適な家	(地域型住宅供給対象地域) 富山県・石川県・福井県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 北陸の素適な家協議会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0400-0334	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計図書などを住宅履歴情報機関による住宅履歴管理システム(いえかるて)に登録して管理する	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: いえかるて正会員である第三者機関である「プロパティオン」を推奨する	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「いえかるて」への登録状況を事務局へ報告する	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 履歴管理システム「いえかるて」により施工主・施工者・事務局への点検時期と項目情報を共有する	○
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 補修工事発生時は、補修前後の写真を履歴情報に蓄積する	○
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 履歴管理システム「いえかるて」の点検結果チェックシートの登録状況を確認する	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住まいの管理勉強会を実施する	○
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 家族で金づちやのこぎりなどを使って木工体験できるイベントを実施する	○
		③-3 その他の相談会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 住まいの知識と最新の住宅資材、機器、システムや政策を勉強、相談できるイベントを実施する	◎
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メンテナンス・リフォームなどの住宅の維持管理検討会を開き、維持管理手法の向上につながる技術を習得する。	○	
⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:			
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構成員が倒産、廃業などにより定期点検などのメンテナンスの継続ができなくなった場合は、事務局が紹介する構成員により維持管理を継続する	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 過去の瑕疵内容等に学ぶセミナー開催や情報を配信する	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	構成員が500万円以上の金額になるリフォーム工事を受注した時は、リフォーム瑕疵保険を勧める 事務局に住宅に関する問い合わせ窓口を設置する		○	

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループメンバーや外部講師などを招いて未経験工務店等に向けた知識と技術向上のための研修会を実施する。	○
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 高度省エネ型の住宅にも、劣化対策等級2相当を適用する	○
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局で基礎高さの確認を行う	○
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域型住宅の供給数が年間50棟以上となった場合に策定する	○
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 2020年の省エネ義務化に備え、外皮やエネルギー計算を習得する研修を行う	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計構成員は省エネ基準適合性判定申請書を作成できるレベルを習得する	○
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 43 今年度の参加目標人数 10
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数		昨年度までの終了者数 5 今年度の参加目標人数 5	○
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組		<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネルギー施工技術者講習の開催日時を案内し受講を促す	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構成員に向け、構成員の知識と技術向上のための研修会を実施する	◎
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	該当ありません		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 北陸で住まう最適な家	(地域型住宅供給対象地域) 富山県・石川県・福井県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 北陸の最適な家協議会	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0400-0334	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成30年度対応方針】		
a		◎、○ 記入欄
①	地域材利用に関する 共通 ルール(必須)	◎
②	地域材利用の1棟当 たりの割合(必須)	◎
③	標準的な地域材の使 用部位(必須)	◎
④	地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に関 する補足説明	
b		
①-1	地域材在庫把握の仕組	◎
①-2	地域材価格の共有の仕組	◎
②	グループ全体における地域材の需給予測	○
c		
①-1	畳の活用	○
①-2	和瓦の活用	○
①-3	襖の活用	○
①-4	障子の活用	○
②-1	その他地域の伝統的な素材の活用	○
②-2	その他地域の伝統的な意匠の活用	○
d		
①	地域の伝統的なデザインを継承する取組	○
②	地域の住まい方の継承につながる取組	○
③	地域の街並み形成へ寄与する取組	○
④	和の住まいの要素を取入れた取組	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	
該当ありません		
カ. その他		
【平成30年度対応方針】		
		◎、○ 記入欄
	東日本大震災の復興に資する取組	○
	事務局または構成員に対して復興に必要な要望があった場合、グループ全体で情報共有し、サポートしていく。	
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	○
	熊本県及び近隣各県より原木供給や製材された資材の使用を推奨する	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 北陸で住まう素適な家	(地域型住宅供給対象地域) 富山県・石川県・福井県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 北陸の素適な家協議会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0400-0334	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

【高度省エネ型】の性能と特徴

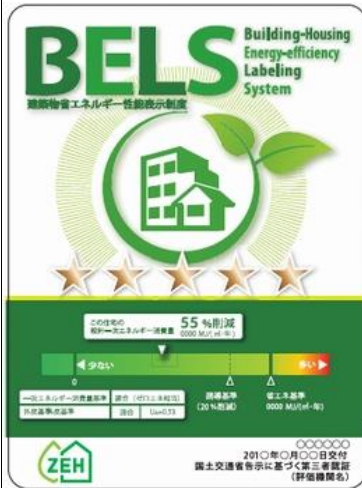
認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロエネルギー住宅

■ゼロエネルギー住宅

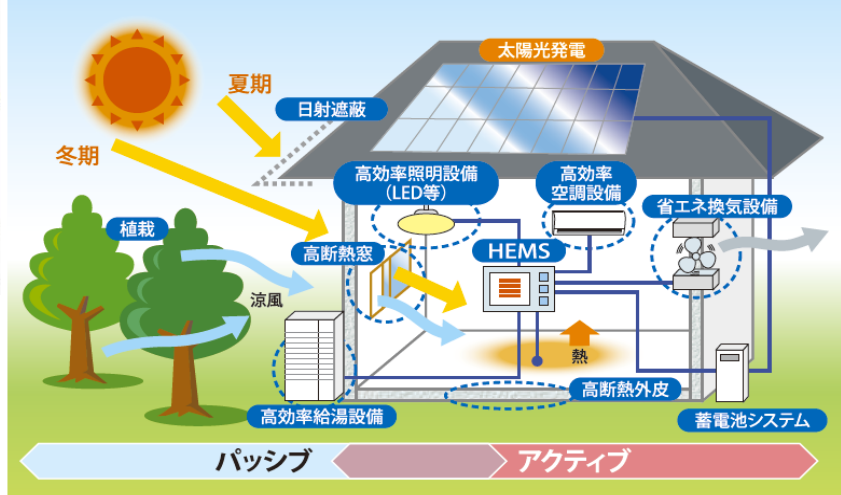
- ・提案種別：BELS認証による評価を利用する
- ・エネルギー削減率(R値)を100%、太陽光発電を除くエネルギー削減率(R0)を20%以上
- ・外皮平均熱貫流率(UA値)は4~6地域 0.60以下

【供給計画地域】

4地域、5地域、6地域



●ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の概要図



※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。